

日本共産党 西宮市会報告

2011年 8月 No.86

発行/日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号(西宮市役所内)
Eメール: nmc30547@nishi.or.jp TEL.0798-35-3368 FAX.0798-22-7815
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

新議会 6月議会



写真左から、杉山たかのり、佐藤みち子、上田さち子、野口あけみ、まつお正秀の各議員

4月のいっせい地方選挙後、はじめての6月議会が、7月8日閉会しました。

日本共産党西宮市会議員団は、2本の意見書を提案。また、地域防災計画の見直しや国民健康保険料引き下げなど、公約実現をめざし全力でがんばりました。

東日本大震災発生から、早5ヶ月。多くの被災者はなお心身ともに苦しみのうちにあり、先の見えない不安の中に置かれています。さらに福島原発事故は収束どころか、被害が拡大しています。

日本共産党西宮市会議員団は、これらの問題に真正面から取り組み、一般質問でとりあげるとともに、意見書を提案し、採択のため奮闘しました。

また、市は消防局をはじめ多くの職員を震災直後か

阪神・淡路大震災には適用されなかったものの、その後の大きな運動で被災者生活再建支援法が実現し、全壊世帯へ最大300万円の支援金が支給されるようになりました。しかし、生活再建には程遠いのが実際です。意見書は、支援金の増額と、支援対象を一部損壊、店舗などへも拡充するよう求めたもので政新会、に求めたもので充するよう政府に建設し運転することは危険極まりないことです。

原発は、ひとたび重大事故が発生し放射性物質が放出されると、被害はどこまでも広がり、将来にわたって危害を及ぼすなど、他の事故には見られない「異質の危険」があります。また、原発は莫大な放射性物質を生み出し続け、それを完全に閉じ込めておく技術もない中、地震国日本に集中的に建設し運転することは危険極まりないことです。

原発は日本共産党と無所属の一部のみで、否決となりました。世論調査では脱

西宮市議会ではその世論が反映されない結果となりました。

一般質問

地域防災計画を 早期に見直せ



まつお正秀議員

当局は「建設から40年が経過しており、高さ、構造など根本的な見直しが必要」と答えました。



まつお正秀議員は、西宮市地域防災計画の見直しについてとりあげました。
「東日本大震災の教訓は？」
という質問に、市長は「今後は『想定外』では済まされない」と答弁しました。

また、党議員団で5月にランティアに行つたいわき市では、防潮堤の継ぎ足し部が津波で破壊されていたことを紹介し、「西宮市の防潮堤の強度や構造には問題がないのか」と質問。

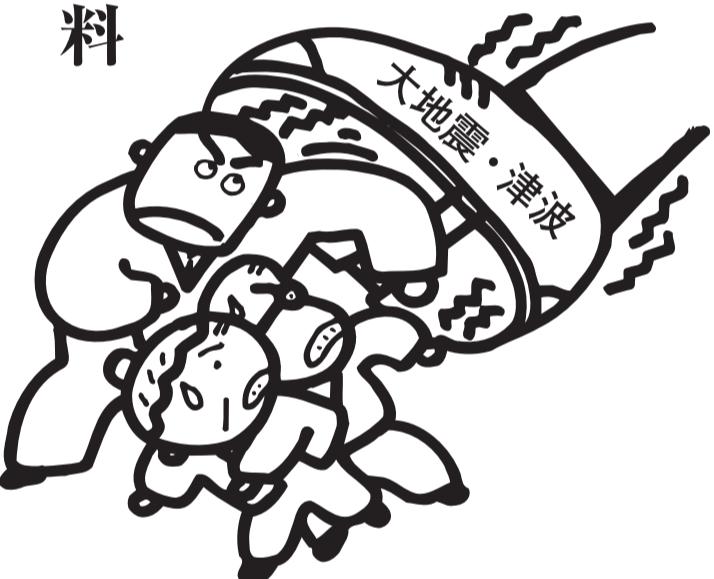
高すぎる国民健康保険料を

次にまつお議員は、国民健康保険料について質問。今年度の保険料は平均3%

の引き上げとなりました
が、当局は、医療給付費の増や所得の減少によるものとしています。

今年も市民の声と運動で一般会計から2億5000万円の繰り入れを行い、さらにも基金も全額とり崩す予定にしていますが、それでも保険料引き上げとなつたのは、根本的には国からの

要になると思われるが、県に対策を急ぐよう要望する」と答えました。



原発からの撤退を！

市長「時期尚早」と答弁

ること、さらに福井県には活断層が集中しており、事故になれば、80km圏の西宮では大きな被害が生じることなどを示しました。その上で、市長に「原発からの撤退」と「自然エネルギー活用」の表明を求めました。

市立中央病院が移転新築の方向へ

病院問題特別委員会において、有識者等で構成する移転整備等検討委員会の「西宮市立中央病院の今後の方向性について」の中間報告がありました。

報告では、昭和50年に開院して以来、赤字経営で一般会計からの補助金で赤字を補ってきたことと、施設そのものが老朽化してきたことから、①阪急西宮北口駅周辺に移転新築する ②ICUなども整備し、小児など救急医療、がん診療、災害・感染症対策に特化した病院に ③経営健全化に向けた新たな運営体制を確立するという方向性が示されました。

質疑では公明党委員から「病院を廃止するという選択肢も検討すべき」という意見がありましたが、「検討委員会の中間報告を評価する」旨の発言が多くありました。

日本共産党市議団はこれまで、地域医療や救急医療の拠点として市立中央病院は存続させるべきとの主張を行ってきたところです。

8月初めには検討委員会の「最終答申」が出され、それを受け市は「年内にも方針を出す予定」としています。市民のいのちを守るよりとしての中央病院のあり方について、市議団はさらに論議が必要だと考えています。

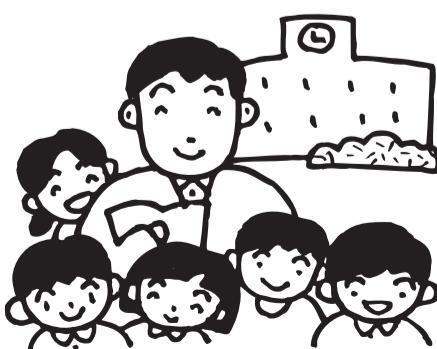


南甲子園小の建て替え 2015年度完了へ

としていますが、耐震補強工事から建て替えに変更に建てるべきだ」と迫りました。

市は重ねての追及

に、「2015年度には完了できる」と時期を明言しました。



杉山たかのり議員は、まず、原子力発電について質問しました。

杉山議員は、関西電力が

福井県に11基もの原発を建設し、その多くが建設から30年以上たつ老朽施設であるた

ました。

市長は、「原発災害はあつてはならない」との見解を示しましたが、「事故の

調査・検証や、原発施設の

安全対策などの推移を見守

2013年度に完了する

子園小学校の早期建て替えを求めました。

教育委員会は現在、学校

校舎の耐震化工事を進め、

杉山議員は、「子どもた